

神奈川県 粟津紅花さんが 親子三人で書道パフォーマンス



親子でのパフォーマンス

海上保安庁と日本財団が主催の「第2回世界海上保安機関長官級会合」が東京で開催され、最終日の夜、明治記念館で開かれたフェアウェルセレクションで、書道パフォーマンスイベントに親子3名で出演しました。

史上最大世界84の海上保安機関等の代表が集結し、海上保安庁からは岩並秀二海上保安庁長官が、日本財団からは笹川陽平会長が出席。レセプションには安倍総理も出席し、ご挨拶の後、書道パフォーマンスという流れでした。安倍総理の挨拶時にはバックに立派な金屏風。挨拶が終わると、それが左右に取り払われ、5メートルほどの白いキャンパスが現れました。

MCの紹介で娘が、書の魅了やパフォーマンスの見どころを英語でご紹介のち、曲に合わせて、わたしと娘息子3人による書道パフォーマンスがスタートしました。約300人の海上保安庁長官級を含んだ方々が前に集まり、非常に楽しんで下さいました。

パフォーマンス後は、MC私、娘息子の



娘さん息子さん

4人で英語でトーク。揮毫した「海結」は海は世界を結ぶを意味し、青い台紙は世界の海をイメージしたこと、海を舞台に活躍されている皆様の今後のご活躍をお祈りすることなどを話しました。親子であることをここで話すと、会場からどよめきがありました。

その後、会場の皆様もご参加のイベントに。海上保安庁長官がくじを引いて、当たった3か国の長官級にその場で揮毫したお名前入り色紙をプレゼントしました。そして当たったインド、シンガポール、ジブチの代表と海上保安庁長官、私たち親子3人で記念撮影。その後は各国の代表にリクエストいただき、パフォーマンスの作品を前に撮影大会となりました。

書道パフォーマンスイベントの後、海上保安庁音楽隊の演奏のお時間が来ましたが、急遽「撮影はそのまま続けてください。」との事で、素敵なBGMの中、皆さんと記念撮影が続き、多くの国の方に喜んでいただけました。



粟津紅花さん

出演のご依頼をいただいたのは数か月前。「日本文化を象徴する書道を各国団長に披露する非常に重要なイベントと捉えております。」とのことで、重責を感じました。海上保安庁へ打ち合わせに伺い、会場となる明治記念館富士の間に設営の方を含め下見に伺い、最後は海上保安庁の方と連日のように詳細を詰めて行き、当日を迎えました。

明治記念館の方にも、イベントに専念できるように、荷物の管理や控室のお気遣いなどをいただき、感謝しております。親子共々、大変貴重な経験ができ、今後の糧になりました。(粟津紅花)